変額保険

グローバルミックス

特別勘定の月次運用レポート

2022 年 8 月度

＜目次＞

1. 運用環境の主な状況 1 ページ
2. 特別勘定の運用方針/運用状況 2 ページ
3. [参考情報]投資信託の運用実績・状況 3-7 ページ
4. 当保険商品の注意事項 8 ページ

〈お知らせ〉
特別勘定で利用している投資信託「アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉」と「アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉」のマザー・ファンドに関しまして、委託会社であるアクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社は、2022年9月末以降AXA Investment Managers UK Ltd.(英国)に運用の指図に関する権限を委託する予定です。特別勘定の投資方針に変更はありません。

[引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-568-093
平日 9:00～18:00 / 土 9:00～17:00
(日・祝日、12月30日～1月4日を除く)
https://www.axa.co.jp/

■ 当保険商品は、現在、新規のお申し込みをお受けしておりません。
■ 当資料は、特別勘定の運用実績等をご契約者さまへお知らせするための資料であり、生命保険契約の募集および投資信託の勧誘を目的としたものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご了承ください。
■ アクサ生命は、「運用環境の主な状況」などを信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。また、「運用実績・状況」に係る内容はいかなるものも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

本商品は、アクサ生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険商品です。預金ではありません。
そのため、預金とは異なり元本保証はありません。本商品のリスクについては本資料巻末に記載していますので、必ずご確認ください。また、本商品の詳細については、「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」をご覧ください。

運用環境の主な状況

（2022年8月末現在）

■ 日本株式市場

日本株式市場は上昇し、TOPIX（東証株価指数）は前月末比+1.18%の1,963.16ポイントで終えました。米国株式市場上昇等の影響を受け中旬にかけて上昇しましたが、その後米国株式市場が下落に転じると上昇幅を減少させました。月を通じては、円安による増益効果を好感し若干プラスのリターンで月を終えました。

日本小型株式市場は上昇しました。

■ 外国株式市場

米国株式市場は下落し、NYダウ工業株30種は前月末比-4.06%の31,510.43ドルで終えました。中旬にかけて、消費者物価の上昇が鈍化し、インフレ圧力が低下するとの見方等から、米国株式市場は上昇しましたが、月の下旬にジャクソンホールにおける会議において、FRB（連邦準備制度理事会）のパウエル議長が利上げを継続し、インフレが低下するまで政策金利を据え置くとした発言を受け、米国株式市場は下落に転じ、月を通じては、マイナスのリターンとなりました。

欧州株式市場は下落し、独DAX指数は前月末比-4.81%、仏CAC40指数は前月末比-5.02%で終えました。基本的に米国株式市場の動きに影響を受けたことに加え、ECB（欧州中央銀行）の大幅な利上げや景気減速等に対する観測が高まったことを受けて、欧州株式市場は月を通じて下落しました。

新興国株式市場は上昇しました。先進国リート市場は下落しました。

■ 日本債券市場

10年国債の金利は上昇（価格は下落）し、月末には0.226%となりました（前月末0.185%）。欧米の長期金利上昇の影響等を受けて日本の長期金利は、日銀の誘導目標の上限付近まで上昇しました。

■ 外国債券市場

米国債券市場では10年国債の金利は上昇（価格は下落）し、月末には3.193%となりました（前月末2.649%）。FRB(連邦準備制度理事会）が、景気よりもインフレの抑制を重視し、金融引き締めの期間を長引かせるとの見方等が強まり、米国の長期金利は上昇しました。

米国ハイ・イールド債券市場は価格が下落しました。

欧州債券市場においては、独10年国債の金利は上昇（価格は下落）し、月末には1.541%となりました（前月末0.817%）。インフレ率の上昇に加え、天然ガスの高騰を受けてECB（欧州中央銀行）が大幅な利上げを行うとの見方が強まり、欧州の長期金利は上昇しました。

■ 外国為替市場

米ドル/円相場は前月末比+4.02円の138.63円となりました。米国長期金利の大幅な上昇による日米長期金利差の拡大により米ドル高円安の展開となりました。

ユーロ/円相場は前月末比+1.78円の139.03円となりました。欧州長期金利が大幅に上昇したことから、金利差拡大によりユーロ高円安の展開となりました。

※上記の内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定の運用方針/運用状況

(2022年8月末現在)

■ 特別勘定の運用方針

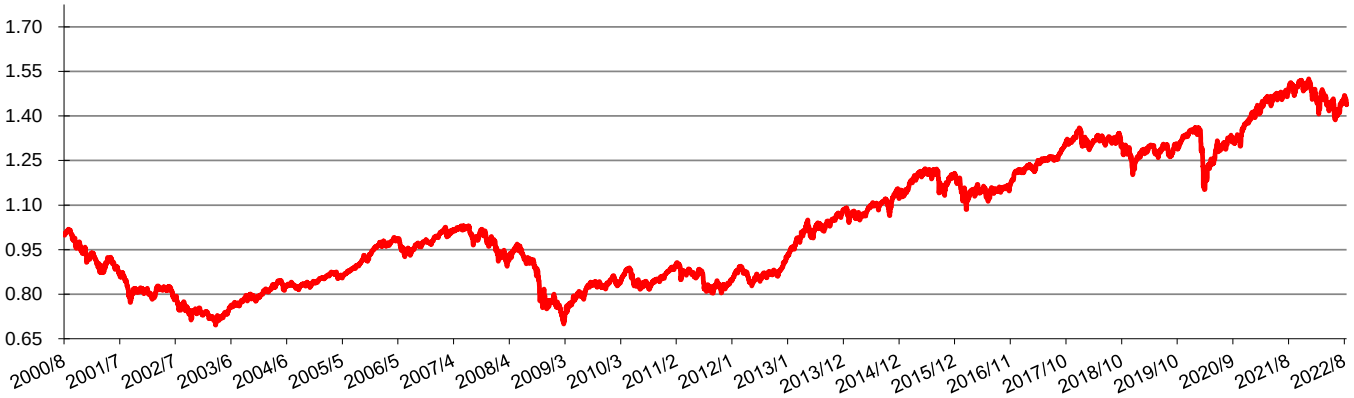
日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。基本資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。
運用の決定にあたっては、収益性、安全性、流動性に配慮し、運用環境の動向に応じた資産配分を行います。
(特別勘定の運用は、アクサ生命保険株式会社　ALM＆特別勘定運用部が行います。)

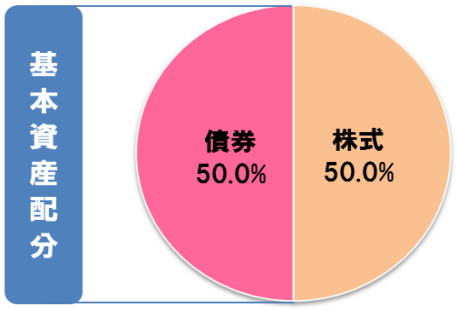
■ 利用する投資信託

委託会社…アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
投資信託…アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉
アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉
アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉
アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉
アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉

■ 特別勘定のINDEXの推移

※特別勘定のINDEXは特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。





INDEX	騰落率(%)					
2022年8月末	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
1.438	△ 0.35	△ 0.86	△ 1.36	△ 3.39	12.49	43.76

※特別勘定のINDEXは、2000年8月1日を1．00として計算しています。
※騰落率は、当月末における、上記各期間のINDEXの変動率を表しています。

■ 特別勘定資産の内訳　千円単位

銘柄		金額	%	参照頁
現預金・その他		2,117,014	4.4	―
株式	アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉	5,006,609	10.5	P.3
	アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉	7,574,403	15.8	P.4
	アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉	6,672,598	14.0	P.5
	アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉	4,756,334	10.0	P.6
債券	アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉	21,672,360	45.3	P.7
合計		47,799,320	100.0	―

※金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

※上記の内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2022年8月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド（A）〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に投資します。

■ 純資産総額

51 億円

■ 設定日

2000年8月3日

■ ベンチマーク

東証株価指数（TOPIX）

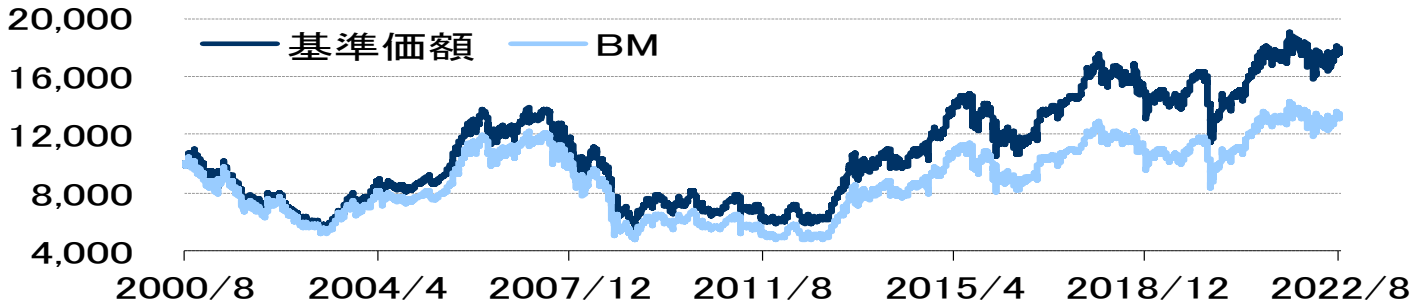
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	0.83	2.63	4.41	0.33	25.94	77.01
BM	1.18	2.64	4.04	0.13	29.85	32.41
差異	△ 0.35	△ 0.01	0.37	0.20	△ 3.91	44.60

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※TOPIXに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又はJPX総研のグループ会社に帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：262

	銘柄	業種	%
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.63
2	ソニーグループ	電気機器	2.48
3	任天堂	その他製品	1.92
4	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.86
5	本田技研工業	輸送用機器	1.85
6	ソフトバンク	情報・通信業	1.62
7	キーエンス	電気機器	1.60
8	日本電信電話	情報・通信業	1.40
9	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	1.33
10	ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.31

■ 株式組入上位5業種（%）

1	電気機器	18.52
2	情報・通信業	9.81
3	輸送用機器	8.41
4	小売業	6.83
5	医薬品	5.78

■ 市場別構成比率（%）

プライム市場	97.97
スタンダード市場	0.80
現金等	1.23

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5業種」「市場別構成比率」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2022年8月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。

■ 純資産総額

100 億円

■ 設定日

2000年12月21日

■ ベンチマーク

東証株価指数(TOPIX)

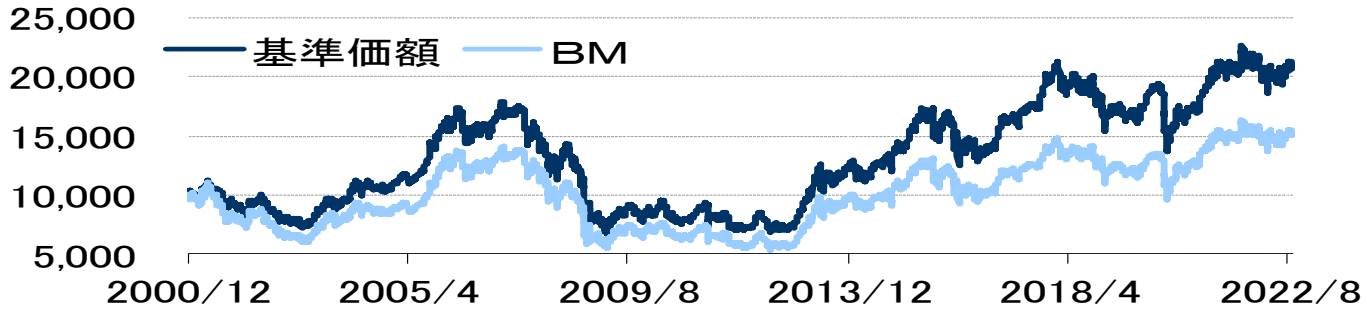
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	0.85	2.36	4.55	△ 0.40	26.60	108.47
BM	1.18	2.64	4.04	0.13	29.85	52.26
差異	△ 0.33	△ 0.28	0.51	△ 0.53	△ 3.25	56.21

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※TOPIXに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又はJPX総研のグループ会社に帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：192

	銘柄	業種	%
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.18
2	任天堂	その他製品	2.27
3	本田技研工業	輸送用機器	2.23
4	日本電信電話	情報・通信業	2.19
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.16
6	ソニーグループ	電気機器	2.07
7	キーエンス	電気機器	1.94
8	東京エレクトロン	電気機器	1.93
9	東京海上ホールディングス	保険業	1.88
10	ソフトバンク	情報・通信業	1.86

■ 株式組入上位5業種(%)

1	電気機器	19.60
2	情報・通信業	10.39
3	輸送用機器	8.45
4	小売業	6.98
5	その他製品	5.14

■ 市場別構成比率(%)

プライム市場	96.51
スタンダード市場	1.84
グロース市場	0.23
現金等	1.42

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5業種」「市場別構成比率」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2022年8月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド（A）〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として米国の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」（バリュー株）を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

■ 純資産総額

67 億円

■ 設定日

2001年10月16日

■ ベンチマーク

S&P500種株価指数

（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース）

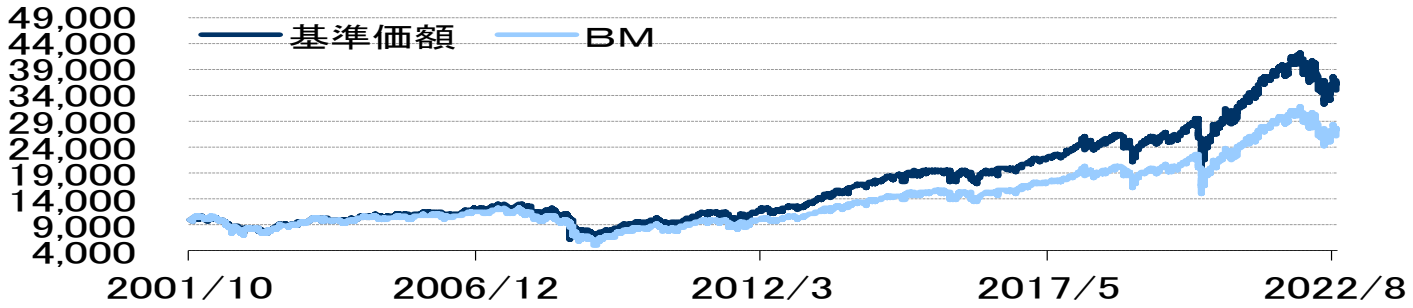
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 1.95	△ 5.36	△ 9.82	△ 12.38	35.21	247.10
BM	△ 2.35	△ 4.64	△ 9.79	△ 12.85	32.05	160.81
差異	0.40	△ 0.71	△ 0.03	0.47	3.15	86.29

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※S&P500種株価指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はS&P ダウ・ジョーンズ・インデックス社に帰属しています。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：197

	銘柄	国名	業種	%
1	APPLE INC.	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	7.02
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	5.62
3	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	3.69
4	AMAZON.COM INC.	アメリカ	小売	3.22
5	TESLA,INC.	アメリカ	自動車・自動車部品	2.14
6	VISA INC.	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.58
7	MERCK & CO.INC.	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.49
8	UNITEDHEALTH GROUP INC	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	1.26
9	BERKSHIRE HATHAWAY INC.	アメリカ	各種金融	1.15
10	BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.11

■ 株式組入上位5業種（%）

1	ソフトウェア・サービス	13.87
2	医薬品・バイオテクノ・ライフ	10.79
3	テクノロジー・ハードウェア	9.44
4	ヘルスケア機器・サービス	7.65
5	メディア・娯楽	5.78

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5業種」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2022年8月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド（A）〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として欧州地域の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」（バリュー株）を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

■ 純資産総額

48 億円

■ 設定日

2001年10月16日

■ ベンチマーク

MSCI欧州株価指数

（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース）

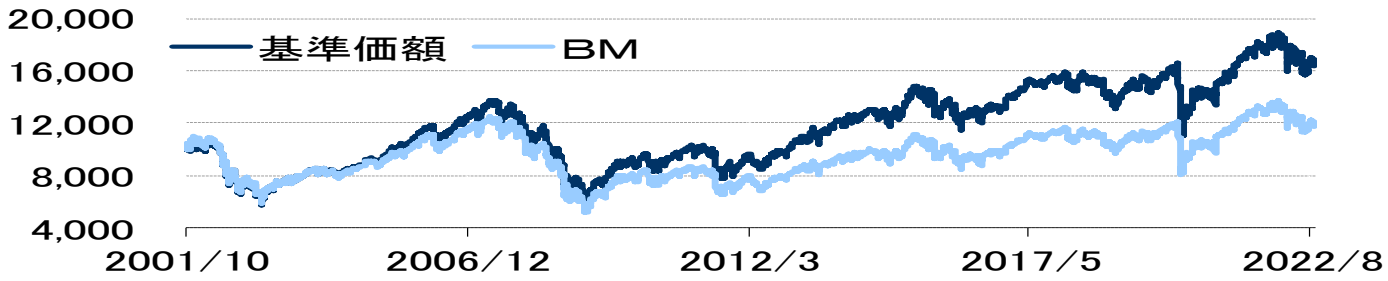
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 1.91	△ 6.16	△ 6.58	△ 9.30	11.18	63.53
BM	△ 2.12	△ 6.34	△ 7.65	△ 10.85	7.79	17.44
差異	0.21	0.18	1.07	1.56	3.39	46.09

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：172

	銘柄	国名	業種	%
1	NESTLE SA	スイス	食品・飲料・タバコ	3.36
2	ROCHE HOLDING AG	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	3.05
3	NOVO NORDISK A/S	デンマーク	医薬品・バイオテクノ・ライフ	2.83
4	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	フランス	耐久消費財・アパレル	1.93
5	TOTALENERGIES SE	フランス	エネルギー	1.87
6	DIAGEO PLC	イギリス	食品・飲料・タバコ	1.87
7	ASML HOLDING NV	オランダ	半導体・半導体製造装置	1.84
8	SHELL PLC-NEW	イギリス	エネルギー	1.75
9	ASTRAZENECA PLC	イギリス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.73
10	NOVARTIS AG	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.60

■ 株式組入上位5カ国(%)

1	イギリス	18.89
2	フランス	15.82
3	スイス	13.35
4	オランダ	12.22
5	ドイツ	11.56

■ 株式組入上位5業種(%)

1	医薬品・バイオテクノ・ライフ	14.29
2	資本財	9.69
3	食品・飲料・タバコ	9.65
4	エネルギー	8.76
5	銀行	7.16

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5ヵ国」「株式組入上位5業種」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2022年8月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、原則としてわが国の公社債に投資を行い、ベンチマークを中長期的にみて、上回る運用をめざします。外貨建資産に投資した場合は、原則として為替ヘッジを行います。

■ 純資産総額

219 億円

■ 設定日

2000年12月21日

■ ベンチマーク

ブルームバーグ・日本総合(3-7年)インデックス

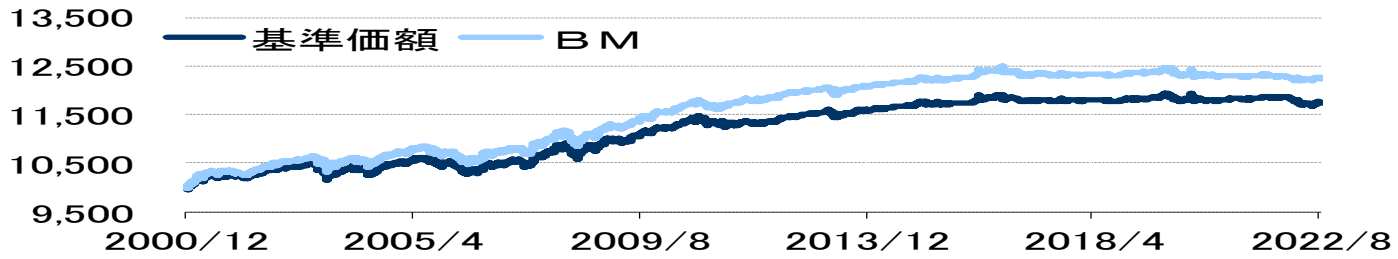
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 0.18	△ 0.05	△ 0.67	△ 1.15	△ 1.59	17.23
BM	△ 0.19	0.11	0.12	△ 0.49	△ 1.67	22.43
差異	0.01	△ 0.16	△ 0.78	△ 0.66	0.08	△ 5.20

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・日本総合(3-7年)インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 債券組入上位銘柄

	銘柄名	国名	Moody's	S&P	%
1	BNPパリバ	フランス	Baa1	A-	11.67
2	第364回利付国債(10年)	日本	-	A+	4.44
3	第13回シティグループ・インク円貨社債	アメリカ	A3	BBB+	4.30
4	第39回政府保証株式会社日本政策投資銀行	日本	A1	A	4.29
5	HSBCホールディングス	イギリス	A3	A-	4.09
6	第1回サンタンデール銀行	スペイン	A2	A+	3.82

■ 格付別構成比率(%)

AAA	0.00
AA	3.07
A	76.48
BBB	20.46
BB以下(無格付含)	0.00

■ 債券種別構成比率(%)

国債	11.64
地方債	1.04
特殊債・財投債	12.60
金融債	0.00
社債等	72.68
その他	0.00
短期資産等	2.03

■ ファンド情報

平均格付	A
平均クーポン	0.60%
平均利回り	0.64%

※「債券組入上位銘柄」「格付別構成比率」「債券種別構成比率」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。
※海外格付機関の格付を優先し、海外格付機関の格付取得の無い発行体は国内格付機関の格付けを採用します。
※債券種別構成比率「短期資産等」には債券先物が含まれています。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

注意事項

変額保険の仕組み

変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。
*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理･運用を行います。

変額保険のリスクについて

①市場リスク
特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額（有期型の場合、満期保険金を含む）や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

②信用リスク
万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。